

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区： 北会津地区	開催日： 令和8年5月11日(月)	開催時間： 18:00 ~ 19:30
担当班： 第3班	出席議員： 成田 芳雄、高橋 義人、村澤 智、丸山さよ子、渡部 認	
開催場所： 北会津支所 ピカリンホール		
参加人数： 男性3名、 女性0名、 合計3名		
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など		
1. 意見交換の総括 (1) 議会報告、市政全般についての総括 ① 2月定例会議について 北会津地区のスクールバスに関する請願について、今後どのように進められていくのか、いつ実行されるのかという意見が出された。 (2) 地区別テーマについての総括 ① 地区別テーマ ごみ出しの現状と地域の助け合いについて ② テーマ設定の理由、背景 令和8年度から始まったごみ処理の有料化について、市民生活や地域にどのような影響が生じているのかを早期に把握するために、3班が担当している3地区のテーマとした。また、地域の高齢者が増えたことにより、ごみ出しが困難な方への支援や、認知症の早期発見につながる見守りなどの活動を通じて、地域の新たなつながりや住民同士の支え合いを深めるために、市民の皆様から現状や課題、今後の地域づくりに向けたご意見を伺う。 ③ 主な地域課題 令和8年度のごみ処理の有料化に伴い、不法投棄の懸念、自治会への管理負担増が指摘された。		

会津若松市議会議長 様

令和8年5月27日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎

意見交換会第3班 代表者 成田 芳雄

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
2月定例会議で出たスクールバスに関する請願について、請願自体は議会で採択されたものの、議会内でも反対者が多くいたため、今後どのように事業が進められていくのか、いつ実行されるのかが不透明で先行きが見えない。	請願が採択されたことは大きな意味を持つ。しかし、すぐに制度が変更されることは難しいと考える。一市二制度の解消に向けて、教育委員会がどのように考えていくのか、議会としても注視していきたい。	●	①		議会全般
火の見櫓の解体時には補助金が出るのに、新設・設置時には補助金が出ないのは制度としておかしい。	貴重なご意見として伺う。	○	②		防災・安全
新入団員が集まらず縮小が進んでいるが、日中は若い世代が仕事で不在のため団員になりにくい。組織縮小が先行し、地域の実情にそぐわない。	貴重なご意見として伺う。	○	②		防災・安全
広域消防だけでは、地理的・環境的要因より、5分で現場に駆けつけることは不可能。特に冬場は水源を探すのも一苦勞であり、消火までに余計に時間がかかる。	貴重なご意見として伺う。	○	②		防災・安全
「可搬式ポンプの操作・運用に12名以上の団員が必要」というルールがあるが、現状、人数を集めるの難しい。消防団員と機能別団員を合わせた12名にしたらいのではないかと考える。実際には5～6人いれば操作ができると考える。市は「地域防災力の重要性」を謳うが、現実にはそのようなルールが地域の防災力を削いでいる。	「可搬式ポンプの操作・運用に12名以上の団員が必要」というルールについては、おおよその目安としてのルールであると認識している。特定の個人のみに負担がかからないようにするため、おおよそ12名ほどの人員が必要とされている。また、機能別団員を含めての12名となっている。	○	①		防災・安全
消防団に対する予算と隊員の定数がリンクしているのか疑問。現状に合わせ、柔軟に活動できる「機能別団員」の確保・拡充が必要ではないか。	貴重なご意見として伺う。	○	②		防災・安全

○ 地区別テーマでの意見交換について → ごみ出しの現状と地域の助け合いについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	令和8年4月よりごみ処理の有料化が始まり、地域への影響について現状と課題等を伺いたい。また、ごみ出しのルールが変わる中、分別等を含め、ごみ出しが困難になっている方も想定されることから、地域の支援、支え合いについて皆さんのご意見を伺い、議会として対応できることなどを考えていきたい。				
ボランティア用のごみ袋や引換券(6月配布)の対応が遅すぎる。3月に駆け込みのごみ出しが発生し、回収処理が追いつかなかったのは見通しが甘いのではないかな。	貴重なご意見として伺う。	○	②		環境
持ち込みごみの事前確認を迫手町第二庁舎で行うのは非効率。ごみ処理場で一括して行えないのか。市民サービスが低下している。		○	②		環境
ごみ処理の有料化に向けて準備期間は十分あったはず。「有料のごみ袋を配れば解決する」という安易な姿勢に見える。		○	②		環境
2月の説明会で多くの問題点が指摘されていたにもかかわらず、解決策の提示がなくマニュアル通りの説明に終始しており、非常にがっかりした。ごみ処理の有料化に向け、制度の移行期や、ルール・運用の狭間(境目)における具体的な配慮が足りないのではないかな。		○	②		環境
市と議会に本気度が感じられない。ごみ減量には根本的な意識改革、特に「生ごみ」への対策が不可欠ではないかな。	貴重なご意見として伺う。	○	②		環境

○ 地区別テーマでの意見交換について → ごみ出しの現状と地域の助け合いについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
令和6年度の福島県のごみ排出量が全国最下位である現状を踏まえ、生ごみの削減手法を真剣に考えるべき。科学的効果が立証されているEM菌の研究開発を市自らが率先して行うべきではないか。市がすすめるキエーロ(生ごみ処理器)の科学的根拠がよく分からない。	貴重なご意見として伺う。	○	②		環境
ごみ袋の値段が高すぎる。不法投棄などをする人が出てくるのではないか。	貴重なご意見として伺う。	○	②		環境
私の住む地区では、ごみの出しかたを工夫して、家庭ごとにランダムな番号を割り当て、ごみ袋に記入してもらっている。約9割の協力を得ている。ごみの不当排出防止に一定の効果がでていると思う。 ただ、ルール違反で不当に出されたごみの処理や管理を地区(自治会等)に丸投げするのは不適切である。市が責任を持って回収すべきではないか。	貴重なご意見として伺う。	○	②		環境
草や木は燃えるごみで出す必要はないと思う。「何でも燃やせる焼却炉」という前提の処理体制そのものを見直すべきではないか。	貴重なご意見として伺う。	○	②		環境

○ 当日欠席された方から、事前にいただいていた意見について

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民からの意見	議会(議員)の回答	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
以前は透明もしくは半透明のごみ袋を使用して、ごみを出していた。袋の中身もよく見えた。ごみ処理の有料化に伴い、ごみ袋がオレンジ色と青色になった。オレンジ色や青色にしたことで中身が見えにくくなっているのではないかな。	ご意見として伺う。	○	②		環境